

天主閣

だより



マキキ聖城キリスト教会

「輝く命を育む教会」

マキキ聖城キリスト教会音楽宣教師

高瀬 真理

マキキ教会には数々の素晴らしいミニストリーがあります。特に親子会の事を今月号では「紹介したいと思います。夏休みも終わり、親子会が始まって一ヶ月あまり：毎回、奉仕者の方々が祈りつつ、準備をし、ボランティアの応援をいただきながら、祈りつつ一歩前へ進んできています。

母親のクラスも、様々な子供たちの「悩み・葛藤・喜び」などを体験し、共に成長されていく姿に感動を覚えるものです。親子会の祝福はかならず教会の祝福になることと信じています。

さて、この親子会に来られる子供の層はおもに0才児から3才児です。その頃というのは、とても大切な時期で、筆者もバイオリンを始めたのが二才半。輝く命を大切に育む時期として児童教育の分野でも色々な提言がなされています。

「人は二〜三歳の頃から、次第に個性をもった【命】を輝かせ始める」と言われます。ある子供にとっては最初の反抗期ですが、これはまさに「個としての自分」への目覚めでもあるのです。

では、この個性と呼ばれるものは、いつ頃からもつとはつきり現れるのでしょうか。それは、人間としての人格を確立するといわれる青年期、その入口に相当する思春期：その頃に個性がその命と共に輝く時期だと思われまます。どうでしょうか？皆様のの中にも中学生の時が一番楽しかった：という感想をお持ちの方も多いいはずで

もちろん、思春期以降も人間の心は変わることもあります。ただ、思春期以降の人の心の変容には柔軟性が失われます。なぜ？それはそれまでに強固な「自我」が形成されているからです。

心理カウンセラーがよく言います。「思春期の心は固まり始めたコンクリートのようなもので、無理に変えようとするとバラバラになる。ただ、コンクリートとは異なって、人の心はその頃に起きた事件や心の傷が長く続くと、いつまでたっても固まらずに、未熟なままで大人になることがある。時にそれがその人の決断力・思考力・人間力に影響を及ぼす」と語っていました。

依存性とか衝動性などもそこからでてくると言うのです。更に現代の悩みというのは、その個性を自分自身で見失ったまま、大学へ入学したり、就職をしたり、結婚したりするケースが増えていくということ。現代はネット社会と言われ、ボールを投げても、帰ってこないのです。知識はたくさんあつて、その点は早熟なのだが心が弱い。氾濫する情報は頭に入っている、それを制御する機能がない状態が起きているのです。もちろん、その人間の成熟の遅れの原因は、子供たちだけにあるのではなく、その環境にも原因があると

も言われています。筆者の子供時代よく語った言葉があります。一、どの子も育つ本人次第 二、どの子も育つ先生次第 三、どの子も育つ親次第 四、どの子も

育つ世の中次第：この四番目の「世の中次第」という現実がとも命輝かせる事に重要なキーワードなのです。

核家族化が進み、複数の人間に囲まれるという場が少なくなってきたことや、道徳や倫理を肌で吸収するような場がなくなってきたからではないか：その意味で家庭はもろろん大切な場です。ただそれだけでは人間社会の多面性には対応できません。家庭だけでなく、人格教育の場としての何かが必要なのです。

マキキ聖城キリスト教会創始者の奥村牧師は教会がその場とならなければならぬと神様から呼ばれました。世の中に翻弄される子供たちの「命」を輝かせるために、このハワイの地にお城の教会「天主閣」を奥村牧師を通し神様が建てられたのです。なぜ、教会が必要なのか？

「それで何事でも、自分にしてもらいたい」とは、他の人にもそのようにしなさい。「これが律法であり預言者です。」(マタイの福音書 七章十二節)

教会では、み言葉を聴くということから始まるのです。み言葉のみに「力」があるのです。教会では聖書を信頼して生きている他の大人の人と出会います。そこで、神さまの恵みに生かされ、神さまに助けられて生きる人の姿を見、聖書が示す人間の尊厳というものを尊ぶ人々の中に生きる恵みを肌で吸収し、神さまの教えの中で自立した人間となっていくことを知るようになるのです。

「あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。わざわいの日が来ないうちに、また「何の喜びもない」と言う年月が近づく前に。」(伝道者の書十二章一節)

教会共同体は、【命】を育む際に、実にとても大切な場でありまます。たった一度の人生の命に何が刻まれるか、創造主なる神ご自身・聖書の教えが刻まれることが、「わざわいの日の前に」とても大切なことなのです。教会では様々な年齢層に合わせた集会を持たせていただいています。是非教会へお越しください。子供達から、人生の先輩に至るまで、みことばの恵みが人を生かす命輝かせることと、知っていたいだきたいと思いま

今月の言葉

認めてあげれば、子どもは自分が好きになる (ドロシー・ロー・ノルト／教育学者)

子供にとっては親の生き方こそ最高の教材になります。

子供は「親のいう通りにはしないが、親のする通りにはする」からです。

(ジヨセフ・マーフィ／宗教者)

親子会は毎週月曜日 午前九時四十分より 定員はいっぱいとなりました。見学大歓迎。



今月の証

「イエスの招き」

矢口 秀子

私が洗礼にあずかりましたのは昨年三月でした。

そのきっかけとなったのは「天国は本当にある」という映画を観た時のことでした。この本はアメリカでベストセラーとなり、日本語にも翻訳されて多くの人が感動を受けました。

主人公のホルトン君が死の危機を乗り越え、やがて天からの「奇跡の贈り物」を受け取った家族の真実の記録です。ホルトン君は自分の体験を牧師やお父さんに話しましたが、周囲の人は信じる事が出来なかつたのです。しかし、このホルトン君が、出会った事もなく死んでいった姉の事や、曾おじいさんとも天国で出会った名前まで知っていて、この不思議な臨死体験の話は聞いた人を驚かせていきました。特にホルトン君が「僕本当にイエス様に会ったんだ！」と言ったこの話を聞いた周りの人はびっくりしました。

私は映画でこのシーンを観たとき自然に口が動いて「神様はほんとうにいるわ」と呟いて、隣に座っていた主人は驚いておりました。

この事がきっかけとなりマキキの皆様のお祈りとお勧めをうけて洗礼にあずかることが出来ました。私の身体では毎週礼拝を守ることが出来ませんが、月に一度教会に行けることを楽しみにしております。

聖書の学びとお祈りは毎日主人とやっておりますが、中々難しく、理解出来ないことが多いのです。

「其れは例え話でしょう。現実には合っていないでしょう。どうしてこうなるのですか？」など訳のわからないことを言っている主人を困らせる事もあります。多分自分が理解出来ないもので自分自身もがいているのかも知れま

せん。しかし私は主人にはこう言っています。「イエス様が私達の罪を救うために十字架にかけられ亡くなられ、葬られ、復活したことは信じていますからね」と。主人は「其れが一番大切なこと。一度この福音の三要素を受け入れて信じればイエス様の助けがあり、義と認め頂いて聖められていく。そして今わからない事もわかるようになってくる。神様は御子に人格をもたせてこの地上に送り出して愛と救いを示してくださいさつたんだよ。」と話してくれました。

この一年間、毎日聖書に親しみ学びを続けておりますが、わからない事だらけでなぜこんなに学ぶ事がむずかしいのかと落ち込む事もありますが、毎日学び続けることで「イエス様と共に歩む事ができる」という希望が生まれ、其れを確信できるようになりました。

私ももっとホップクラスに出席して学びとお交わりを持ちたいのですがこのような身体なので残念です。私の願いはイエス様の助けを頂いて皆様と一緒に神の栄光と神を賛美する事ができるようにお祈りする事です。

「まことに、あなたがたに告げます。あなたがたも悔い改めて子どもにならない限り、決して天の御国には、はいれません。」

(マタイ十八章三節)

洗礼を受けて、間もない方、聖書をもう一度基礎から学びたい方、聖書を知りたい方、ホップクラスにご参加ください。毎週日曜日午前十時より日語部ラウンジにて。



テリーさんの簡単クッキング

キャベツの重ね煮&ツナのポテトグラタン

気軽に作れるので忙しい主婦には嬉しい2品です。

<キャベツの重ね煮>

材料：キャベツ8枚 ゆでておく。人参1/3本、玉ねぎ小さじ1個(みじん切り)、豚のひき肉 200g、卵1個、塩と胡椒各少々、白ワイン大さじ2、スープ2カップ、バター大さじ2

材料を良く混ぜる。底の平らな鍋にバター大2をぬり、キャベツ→ひき肉→キャベツ→ひき肉と順に重ね、白ワイン大さじ2とスープ2カップを加え火にかけ、蓋をずらして30分ほど煮込む。

出来上がったたら煮汁ごと切り分けて盛り、マスタードやケチャップをいただく。

<ツナのポテトグラタン>

材料：ツナ小一缶、レモン汁少々、玉ねぎ1/2個、しいたけ3個、グリーンピース大1、じゃがいも4個、卵、塩コショウ、バター、牛乳、粉チーズ、スープ1/2カップ

1. 玉ねぎとしいたけをそれぞれ薄切りにし、バター大さじ1.5でしんなりいたため、ツナとグリーンピース大1を加え、塩と胡椒で調味する。
2. バター大さじ1.5で小麦粉大2強を焦がさないように炒め、牛乳1カップとスープ1/2カップをそそいで、なめらかにのばし、とろみがつくまで煮詰めソースを作る。
3. じゃがいもを茹で、裏ごしし、熱いうちにバター大さじ1.5と卵黄2個分をまぜマッシュポテトを作る。
4. 浅型のグラタン皿にサラダ油を塗り、2のソース1/3を弾いて、1の具を入れ、残りのソースをかけ、まわりにマッシュポテトをしぼり飾り、粉チーズ大さじ2をふつて高温のオーブンで色がつかうまで焼く。

簡単に材料費もかからず、子供も大喜び!

今後の予定

☆十月の礼拝 メッセージ

一日 グロリア・イマムラ 牧師

八日 パット・ズケラン 牧師

十五日、二十二日、二十九日 中台 孝雄 牧師

☆マキキ・フェスティバル

十月七日(土)朝九時より午後一時

名物のフードコーナー、トレジャーアーク、キッズコーナーなど、ご家族で楽しめる年に一回のイベントです。

のぞみの会便り

グロリア牧師による詩編一四九篇からのメッセージです。讚美歌は神を褒めたたえ人々の霊に訴えます。神を賛美することは御霊の剣を得るのと同じです。どんな困難にも神の賛美に負けるものはありません。命をもたらず御霊の剣に感謝しましょう。

編集後記

今年もフェスティバルが開かれます。地域のために、また福音のためにメンバーが一丸となって働きます。祝福され、主の栄光が現れる時となりますように多くの方の来会をお待ちしています。玉寄朋子、大塩直子、麻由



責任者 マキキ聖城キリスト教会 宣教部
編集 玉寄朋子 大塩直子
イラスト、レイアウト 大塩麻由